

平成 21 年 1 月 28 日

J S P S ロンドン

## 科学技術に関する国民の理解増進 『Science [So What? So Everything]』事業(Campaign)について

2009 年 1 月 28 日、イノベーション・大学・職業技能省(DIUS)は、科学技術に関する国民の理解増進『Science [So What? So Everything]』事業(Campaign)を開始した旨公表した。また、同日、ジョン・デナム DIUS 閣内大臣及びポール・ドレイソン DIUS 科技相は、「Building the Britain of the Future Expo」を主催し、産業界のリーダー及び若い企業家をと意見交換を行った。(なお、本事業の開始について、HEFCE、王立協会、BBSRC 等がそれぞれプレスリリースを公表している。)

本事業の概要は以下のとおり。

○(新規開設された)ウェブサイトを通じて情報発信等を行う。

『Science [So What? So Everything]』ウェブサイト

<http://sciencesowhat.direct.gov.uk/>

○国民に対して、科学が①いかに日常生活において便益をもたらしているか、②英国経済の強化に重要であるか、③大きな課題の解決に不可欠であることを伝えることを目的とする。主に以下のような項目がある。

科学は私たちのためのものであること	(一部の)中心的なものから、我々が触れたり消費したりする全てのものへ(波及する)
科学の発展はあなた方により成り立っていること	英国で研究されている科学の多くは、納税者又はチャリティーのドナーによる助成を受けている
科学への投資の有益性	科学は、我々の将来の基礎となるもので、世界規模のヘルスの課題解決に不可欠
科学者になることの有益性	科学教育は、より豊富な機会を与え、よりよい金銭的な報酬をもたらし、将来の英国構築に資する

(出典) DIUS プレスリリース (2009 年 1 月 28 日)

○「全国科学・工学週間」(National Science and Engineering Week)や地域の科学フェスティバルなど、1 年を通じて、科学技術に関する国民の理解増進の機運(Momentum)を形成する。

○「科学は一部のエリートのものであるという社会通年を打破」することも目的としている。

この度新たに実施した調査では、将来の形成に最も影響を与えるものは？という質問に対して、政治、

家族、宗教等を退けて科学がトップ(26%)だったのに対して、日常に最も影響を与える者は？の問いでは、科学はわずかに3%だった(政治家40%、資本家29%)。

○「科学と社会に関する協議」(Science & Society Consultation)で得られた課題に対応している。なお、同じく1月28日に、同協議の結果サマリーも公表された。なお、「科学と社会に関する協議」(Science & Society Consultation)のDIUSサイトでは、本事業により同協議の以下の項目が支援される旨述べられている。

国民をより熱く(Excited)する試みを実施し、国民にとって科学をより身近なものにする
新しいプログラムの開発について、メディアと科学者がより緊密に連携するよう働きかける
科学者とより緊密に連携して、学校の教員を支援する
科学者への門戸を全てのひとに開く

(出典)「科学と社会に関する協議」(Science & Society Consultation)のDIUSサイト

○本事業は、DIUSが設計し支援するもので、以下の機関の協力も得て実施される。科学技術関連の機関だけでなく、教育関連の機関とも連携を図っており、特にDCSFの関連施策を支援・補完することも目的としている。

#### 協力機関

7つの研究会議
技術戦略会議(TSB)
王立協会
ブリティッシュ・アカデミー
王立工学アカデミー
ブリティッシュ科学協会(British Science Association)
HEFCE
児童・学校・家庭省(DCSF)

(出典) DIUS プレスリリース (2009年1月28日)

#### 参考資料

○DIUS プレスリリース (2009年1月28日)

<http://nds.coi.gov.uk/environment/fullDetail.asp?ReleaseID=390957&NewsAreaID=2&NavigatedFromDepartment=False>

○HEFCE ニュース (2009年1月28日)

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2009/science.htm>

○王立協会 (2009年1月29日)

<http://royalsociety.org/news.asp?year=&id=8264>

○OBBSRC プレスリリース (2009年1月28日)

[http://www.bbsrc.ac.uk/media/releases/2009/090128\\_science\\_so\\_what\\_so\\_everything.html](http://www.bbsrc.ac.uk/media/releases/2009/090128_science_so_what_so_everything.html)

○「科学と社会に関する協議」(Science & Society Consultation)

<http://interactive.dius.gov.uk/scienceandsociety/site/> (DIUS サイト)

<http://interactive.dius.gov.uk/scienceandsociety/site/wp-content/uploads/2009/01/scienceandsocietyresponsesummarytextonly.pdf> (協議結果のサマリー)

○全国科学・工学週間」(National Science and Engineering Week)

<http://www.britishtscienceassociation.org/web/nsew/>

○科学に対する国民意識調査 (Public Attitudes to Science 2008) (DIUS サイト)

[http://www.dius.gov.uk/policy/science\\_society/public\\_attitudes.html](http://www.dius.gov.uk/policy/science_society/public_attitudes.html)

(了)